

2024 年度予算案 組み替え動議

岡田ゆき子

日本共産党名古屋市会議員団を代表し、新年度名古屋市一般会計予算の組替えを求める動議について、ご説明申し上げます。

物価高騰が続く中、市民の暮らしと営業は、厳しさは増えています。この物価高騰から、

市民生活を守るため、以下の方向で、予算案の抜本的な組替えを提案します。

第 1 に、金持ち優遇の市民税減税を中止するとともに、名古屋城天守閣の木造復元関連、中部国際空港の二本目滑走路の整備、ささしまライブ 24 地区・名駅南地区への巨大地下通路建設など、新たな税金の浪費につながる大型開発事業、不要不急の事業は中止し、約 108 億円の財源を生み出します。

第 2 に、そうして確保した財源を、物価高騰で苦しむ市民の、いのち・暮らしを守るために活用します。

義務教育は無償という憲法の原則を踏まえて、小学校給食費は無償にします。

国民健康保険料、後期高齢者医療、介護保険料の負担を軽減します。

加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を創設します。

生活保護世帯への夏季見舞金制度の復活、

奨学金の返還を支援する制度の創設で、若者を応援します。

能登半島地震の被害状況に鑑み、木造住宅の耐震化をすすめるため、耐震改修工事助成額を拡充します。

住宅リフォーム補助制度の創設で、中小業者の仕事を増やします。

以上、市長に対し、一般会計予算案を速やかに組み替え、再提出されんことを求めて、説明を終わります。